



世界ペタンク選手権大会への出場を決め、練習にも力が入る、難波さん、佐野さん、富谷さん、徳田さん（写真右から）

## 仲間と力を合わせ世界に挑戦

### 2014 年世界ペタンク選手権大会出場

5月17日、18日に埼玉県で行われた、「2014 海外派遣大会日本代表チーム選考大会」に、佐野裕二さん（清音軽部）、難波利彦さん（宿）、富谷弘樹さん（清音上中島）、徳田真行さん（倉敷市）のチームが出場し、見事優勝。世界ペタンク選手権大会への切符を手に入れました。

1チーム3人で競うトリプルの部に出場。12チーム総当りのリーグ戦で、8勝3敗という成績を収め、優勝の栄光に輝きました。キャプテンの佐野さんは、「自分たちが今まで練習してきたことが、世界でどれだけ通用するか挑戦したい。目標はベスト16」と力強く意気込みを語りました。

世界ペタンク選手権大会は、10月23日から26日まで、タヒチで開催されます。

## チュッピーが今年もエントリー

### ゆるキャラグランプリ 2014

ゆるキャラグランプリ 2014 に、子育て王国そうじやのマスコットキャラクター「チュッピー」がエントリーしました。今後、「全国50位以内」を目標に、各地のイベント会場で投票を呼び掛けるPR活動を行っていきます。

チュッピーは、昨年のゆるキャラグランプリで岡山県内1位（全国67位）。初挑戦ながら見事な成績を収めました。

投票は、9月2日から開始。皆さん、チュッピーに温かい1票をお願いします。



7月1日に市役所中庭で行われた、「ゆるキャラグランプリ 2014 チュッピー出馬表明」。総社南幼稚園の園児の応援で綱引きに勝ち、出馬を決めたチュッピー



## 総社からギネス世界記録が誕生

### 1097人 1098脚

総社市民まつり「雪舟フェスタ」の40周年記念事業として、「まつりの“キセキ”ギネス世界記録に挑戦！1200人1201脚！！」が7月6日、高梁川河川敷グラウンドで行われました。

目標の1200人には届かなかったものの、市内外から1097人が参加。横一列に並んで肩を組み、1097人1098脚で50mを完歩し、見事ギネス世界記録を達成しました。

この日、来総したギネス認定員がその場で認定。決まった瞬間、参加者全員が歓喜の声を上げ、喜びを分かち合っていました。



1097人が横一列に並び、声を掛け合いながら一歩一歩前に進む（写真上）。約600mにも及ぶ長い人の列ができた（写真左）

## ミニフォト

### 楽しく運動して健康に



ソフトテニスをする参加者

地域の連帯感を一層高め、体力づくりと健康の増進を図ろうと、西部ふれあい球技大会が7月6日、西公民館などで開催されました。西部地区の住民ら533人が参加。楽しみながら卓球やバレーなどで良い汗を流していました。

### 音楽の魅力を堪能



フィナーレの演奏で盛り上がる

岡山県大学吹奏楽フェスティバルが6月29日、市民会館で開催されました。岡山県大学吹奏楽連盟に所属する8大学が出演。訪れた524人の観客は、学生達の心打もった演奏を聴き、音楽の魅力に引き込まれていました。

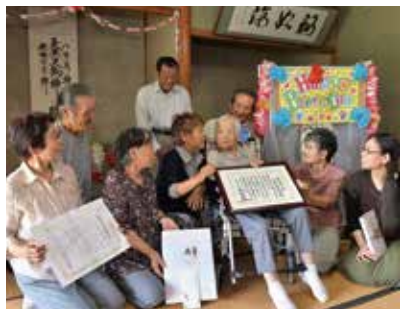
### 被災地の復興を祈る



全員で合唱した「花は咲く」

東日本大震災復興支援チャリティーコンサートが、7月6日に井山宝福寺で開催されました。市内を中心に活躍しているバンドなど6組が歌声を披露。訪れた約100人の観客は、被災地復興の思いを一つにしていました。

### 100歳おめでとう



家族に祝福される出原さん

出原與志恵さん（井尻野）が6月30日に満100歳の誕生日を迎えられ、7月1日に県と市から記念品が贈られました。長寿の秘訣は、好き嫌がなくよく食べ、農業に従事し、体をよく動かしていたことだそうです。

### 障がい者に対する理解を



講演する伊奈川秀和さん

総社市権利擁護センター“しえん”開設1周年記念シンポジウムを6月28日、総合福祉センターで開催。伊奈川秀和前中四国厚生局長が、「共生社会の構築に向けて」と題し講演。参加者は障がい者の差別解消を学んでいました。

### ヒイゴ池湿地の生態系を守る



池干しによる駆除

ヒイゴ池湿地の生態系を守ろうと、「トンボ池」に生息する特定外来生物（ブラックバス・ブルーギル）の駆除を、6月29日に実施。北の吉備路保全協会の会員や総社北小学校の児童ら約40人が、力を合わせ駆除を行っていました。

### 家族の絆を深める



親子で力を合わせて作る

そうじや家族の日で家族の絆を深めてもらおうと、「子育て王国そうじや」まちづくり実行委員会が、「家族であそび！親子木工教室」を6月22日、総社北小学校で開催。参加した41人の親子連れは、楽しんで作業していました。

### 新規採用職員が野菜販売研修



朝採りのスイートコーンを勧める

市の新規採用職員が7月1日、研修の一環で、地産地消生産者が作った野菜のPRと販売を天満屋ハピータウンリブ総社店で行いました。職員は、買い物客に「新鮮でおいしい総社産の野菜はいかがですか」と呼び掛けていました。

### おいしいブドウを学ぶ



丁寧に袋掛けをする児童

昭和小学校3年生の16人が6月26日、日羽のブドウ畑で体験学習を行いました。児童らは、ブドウの品種による特徴や、病害虫の防除の方法を学んだり、実際にブドウの袋掛けをするなど、熱心に学んでいました。